

令和5年度（2023年度） 社会福祉法人 慈愛会 事業報告書

1 入所定員（現員）、利用者（児）、職員の内訳 （令和6年3月31日現在）

区分 施設名	定員	現員	利用者 延人員	利用人員数		職員数	
				入園者	退園者	常勤	非常勤
清心慈愛園	32	24	10,550	6	5	37	2
小規模児童養護施設 歩夢ホーム	6	5	1,928	0	1	5	2
小規模児童養護施設 あおば ひより	12	6	4,392	0	0	10	2
医療福祉センター聖ヨゼフ園	120	111	41,231	1	3	179	36
相談支援センター聖ヨゼフ園	相談受付件数 210 件						
保育所等訪問支援事業所等聖ヨゼフ園	訪問回数 3 回						
清心乳児園 ※ 里親支援機関OHANA・ 母子支援機関Link職員・嘱託医含	20	14	6,423	6	4	48	13
特別養護老人ホーム富の里	50	47	17,438	17	15	24	20
富の里 短期入所サービスセンター	10	—	2,605	—	—	2	1
富の里 デイサービスセンター 介護保険法に基づく第一号事業 <small>（生きがいデイ教室の里デイサービスセンター）</small>	35	—	6,811	—	—	9	5
グループホーム 富の里	18	16	6,143	5	5	14	4
生活支援ハウス 富の里	10	8	2,856	0	1	1	1
糸島市前原西地域包括支援センター	相談受付件数 8,613件 訪問件数 1,069件					11	0
富の里 ケアプランセンター	介護給付 1,126件 予防給付 145件					4	0
富の里ヘルパーステーション	訪問回数 6,582回					4	5
篠原の里	50	46	16,595	5	4	7	10
しのはらの里デイサービスセンター	30	—	4,149	—	—	4	5
デイサービス源藤の里こころ	30	—	4,905	—	—	5	7
小規模多機能ホーム源藤の里こころ	25	23	6,513	—	—	8	0
合計	448	300	132,539	40	38	372	113

2 理事会・評議員会・監事監査等の招集及び開催

R5.5.25	会計監査人とのコミュニケーション（招集通知発出日：R5年4月26日）【集合会議】
6.9	監事監査（招集通知発出日：R5年4月26日）【集合会議】
6.13	令和5年度 第1回理事会（招集通知発出日：R5年5月29日）【集合会議】 <決議事項> 第1号議案 令和4年度慈愛会事業報告（案）の件 第2号議案 令和4年度収支決算（案）の件 「令和4年度会計監査報告及び監事監査報告」 第3号議案 任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦の件 第4号議案 評議員増員に伴う評議員候補者の推薦の件 第5号議案 令和5年度会計監査人の再任及び報酬等の額の件 第6号議案 令和5年度定時評議員会の招集の件 第7号議案 諸規程の一部改正の件

	<p>第8号議案 令和5年度資金運用計画の件 <報告事項> 報告事項1 老人福祉施設及び社会福祉法人等指導監査結果の報告 報告事項2 理事長及び常務理事の職務の執行状況（R5年3月～5月）の報告 報告事項3 満期保有目的の債権の運用状況について 報告事項4 令和4年度社会福祉充実残額の算定結果の報告</p>
6.29	<p>定時評議員会（招集通知発出日：R5年6月14日） 【集合会議】 <決議事項> 第1号議案 令和4年度収支決算（案）についての件 「令和4年度会計監査報告及び監事監査報告」 第2号議案 任期満了に伴う役員（理事・監事）の選任の件 <報告事項> 報告事項1 令和4年度慈愛会事業報告の件 報告事項2 令和4年度社会福祉法人等指導監査結果の報告 報告事項3 令和4年度社会福祉充実残額の算定結果の報告 報告事項4 評議員増員に伴う評議員の選任結果の報告 報告事項5 令和5年度会計監査人の再任の報告</p>
6.29	<p>令和5年度 第2回理事会（招集通知発出日：R5年6月14日） 【集合会議】 <報告事項> 報告事項1 任期満了に伴う理事・監事の選任結果の報告 報告事項2 評議員増員に伴う評議員の選任結果の報告 <決議事項> 第1号議案 理事長の選定の件 第2号議案 常務理事（業務執行理事）の選定の件</p>
9.12	<p>令和5年度 第3回理事会（招集通知発出日：R5年9月1日） 【Zoom会議】 <決議事項> 第1号議案 聖ヨゼフ園職員・実習生宿舍（仮称）改築工事の件 第2号議案 令和5年度聖ヨゼフ園第一次収支補正予算（案）の件 第3号議案 令和5年度第1回臨時評議員会の招集の件 <報告事項> 報告事項1 理事長及び常務理事の職務の執行状況（R5年6月～8月）の報告 報告事項2 満期保有目的の債券の運用状況の報告</p>
9.28	<p>令和5年度 第1回臨時評議員会（招集通知発出日：R5年9月14日） 【Zoom会議】 <決議事項> 第1号議案 聖ヨゼフ園職員・実習生宿舍（仮称）改築工事の件 第2号議案 令和5年度聖ヨゼフ園第1次収支補正予算（案）の件</p>
R6.3.18	<p>令和5年度 第4回理事会（招集通知発出日：R6年3月1日） 【Zoom会議】 <決議事項> 第1号議案 令和5年度収支補正予算（案）の件 第2号議案 令和6年度事業計画（案）の件 第3号議案 令和6年度収支予算（案）の件 第4号議案 令和5年度第2回臨時評議員会の招集の件 第5号議案 諸規定等の一部改正（案）の件</p>

3.26	<p>第6号議案 社会福祉法人役員等賠償責任保険の契約（更新）の件 <報告事項> 報告事項1 養護老人ホーム篠原の里給食業務委託の報告 報告事項2 理事長及び常務理事の職務の執行状況（R5年9月～R6年2月）の報告 報告事項3 満期保有目的の債券の運用状況の報告</p> <p>令和5年度 第2回臨時評議員会（招集通知発出日：R6年3月18日）【Zoom会議】 <決議事項> 第1号議案 令和5年度収支補正予算（案）の件 第2号議案 令和6年度事業計画（案）の件 第3号議案 令和6年度収支予算（案）の件 <報告事項> 報告事項1 社会福祉法人役員等賠償責任保険契約（更新）の報告</p>
------	--

3 定款等に関する事項（登記・認可・変更等）

R5.6.29	資産総額の変更登記 令和5年3月31日変更 資産の総額3,779,484,525円
7.7	理事長の変更登記（平田牧男）

4. 会計監査人の業務執行状況

R5.4.5	残高確認状発送手続・実査 【集合会議】
R5.5.24～25	期末監査（期末実証手続） 【集合会議】
R5.5.25	監事意見監査 【集合会議】
R5.6.13	第1回理事会（令和4年度会計監査報告） 【集合会議】
R5.6.29	定時評議員会（令和4年度会計監査報告） 【集合会議】
R5.12.21～22	期中監査（内部統制の検証・期中取引の実施手続） 【集合会議】

5 事業運営の透明性に関する事項

（1）社会福祉法人の現況報告書等の届出・公表等（情報公開）

R5.6.20	福岡県へ報告（県福祉総務課監査指導係） 社会福祉法人指導監査実施要綱に基づく社会福祉法人に対する一般監査周期の延長及び指導監査事項の省略について
R5.6.24	令和4年度事業報告書の提出 [独立行政法人福祉医療機構へ提出（電子申請）]
R5.7.5	公益法人等の損益計算書等の提出 [久留米税務署へ提出]
R5.7	慈愛会のホームページで公表

R5.7	<p>定款、現況報告書、財産目録、貸借対照表、事業活動計算書、資金収支計算書、事業報告書、事業計画書、監事監査報告書、外部監査報告書、社会福祉施設指導監査結果、役員等報 酬規程、役員等名簿</p> <p>所轄庁への届出</p> <p>社会福祉法第59条及び社会福祉法施行規則第9条等の規定に基づき、社会福祉法人の現況報告書等については、「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムの財務諸表等の入力シート」及び電子ファイル（附属明細書等）を北筑後保健福祉環境事務所へ届出（送信）</p>
R5.7	<p>全国社会福祉法人経営者協議会「法人情報公開ホームページ」の更新</p> <p>更新内容（現況報告書、財務情報、法人監事監査、所轄庁による法人指導監査、公認会計士等による外部監査、事業計画・報告書等）</p>

6 意見要望等（苦情解決等）による第三者委員会の開催

R5.8.28	<p>第38回 意見要望等受付結果報告（期間：R5.1.1～R5.6.30）【Zoom会議】</p> <p>1. 第三者委員 下川 雅文（障がい者支援施設 ウェルフェアマリア 施設長） 西原 尚之（一般社団法人 ファミリーワーク相談室ニシハラ 代表）</p> <p>2. 法人職員 法人理事長 平田 牧男（清心慈愛園 統括園長） 法人常務理事 平田 直之（富の里短期入所サービスセンター・生活支援ハウス管理者） 法人事務局長 平田 良一（聖ヨゼフ園 副園長） 法人事務局次長 中村広一郎（法人事務局次長） 法人事務局課長 平田 渉（法人事務局課長）</p> <p>3. 意見要望等解決責任者 （1）平田 哲男（清心慈愛園 園長） （2）時村 俊幸（聖ヨゼフ園 園長） （3）平田ルリ子（清心乳児園 園長） （4）平田 正直（富の里 園長） （5）田中 英樹（篠原の里 園長）</p> <p>4. 意見・要望等の受付書担当者等（受付書説明者） （1）牛島 勲（清心慈愛園 部長）</p> <p>5. 受付件数 2件 清心慈愛園2件</p>
R6.2.26	<p>第40回 意見要望等受付結果報告（期間：R5.7.1～R5年12.31）【Zoom会議】</p> <p>1. 第三者委員 下川 雅文（障がい者支援施設 ウェルフェアマリア 施設長） 西原 尚之（一般社団法人 ファミリーワーク相談室ニシハラ 代表）</p> <p>2. 法人職員 法人理事長 平田 牧男（清心慈愛園 統括園長） 法人常務理事 平田 直之（富の里短期入所サービスセンター・生活支援ハウス管理者） 法人事務局長 平田 良一（聖ヨゼフ園 副園長） 法人事務局次長 中村広一郎（法人事務局次長） 法人事務局課長 平田 渉（法人事務局課長）</p> <p>3. 意見要望等解決責任者 （1）平田 哲男（清心慈愛園 園長） （2）時村 俊幸（聖ヨゼフ園 園長） （3）平田ルリ子（清心乳児園 園長） （4）平田 正直（富の里 園長） （5）田中 英樹（篠原の里 園長）</p> <p>4. 意見・要望等の受付書担当者等（受付書説明者）</p>

	(1) 牛島 勲 (清心慈愛園 部長) (2) 原田加代子 (聖ヨゼフ園 看護参与)
	5. 受付件数 4件 清心慈愛園 2件、聖ヨゼフ園 2件

7 園長会・運営委員会・各部会事業報告

(1) 園長会

- ア 令和5年4月25日(火) (第254回) 【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策について
 - (イ) 源藤の里こころの運営(支援)について
 - (ウ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (エ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
 - (オ) 報告事項
 - ① 有価証券の状況
 - ② 法人主催研修会への提案(開催方法)
 - ③ 法人組織
 - ④ 一般社団法人未来研究所臥龍(会員制度の改定)
 - (カ) 初任給改定について
- イ 令和5年5月31日(水) (第255回) 【Zoom会議】
- (ア) 人事考課について
 - (イ) 人材確保対策について
 - (ウ) 源藤の里こころの運営(支援)について
 - (エ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
 - (カ) 慈愛会人事(法人事務局)について
 - (キ) 報告事項
 - ① 有価証券の状況
 - ② 法人主催研修会(初任者研修)
 - ③ 法人組織
- ウ 令和5年6月26日(月) (第256回) 【Zoom会議】
- (ア) 人事考課について
 - (イ) 定期昇給について
 - (ウ) 人材確保対策について
 - (エ) 源藤の里こころの運営(支援)について
 - (オ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (カ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
 - (キ) 報告事項
 - ① 有価証券の状況
 - ② 法人全体会(令和5年度 第1回)
 - ③ 法人組織
- エ 令和5年7月25日(火) (第257回) 【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策について
 - (イ) 人事考課制度について
 - (ウ) 働き方改革について
 - (エ) 源藤の里こころの運営(支援)について
 - (オ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - (カ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
 - (キ) 報告事項
 - ① 有価証券の状況
 - ② 指定法人更新(日本社会事業大学 専門職大学院 推薦入学制度)
 - ③ 第三者委員会提出資料について
 - ④ 第37期アジア社会福祉従事者研修
 - ⑤ 7月10日前後からの豪雨に伴う災害施設等への復興支援について
 - ⑥ 寄付依頼(令和5年6月大雨災害 災害復興支援特別基金 日本財団)
 - ⑦ 第1回法人全体会の取り扱い
 - ⑧ 法人全体研修会の開催方法について
- オ 令和5年8月28日(月) (第258回) 【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策について
 - (イ) 働き方改革について

- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について

(カ) 報告事項

- ① 有価証券の状況 ② 第1回法人全体会（豪雨による日程変更分）について
- ③ 令和5年度法人全体研修会の日程（11月）について
- ④ 7月豪雨災害に伴う対応（休暇の取り扱い）について
- ⑤ 最低賃金改定に伴う対応（富の里）

カ 令和5年9月26日（火）（第259回）【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 働き方改革について
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について

(カ) 報告事項

- ① 有価証券の状況 ② 考課者研修（人事考課制度）について
- ③ 7月豪雨災害に伴う対応（休暇の取り扱い）について
- ④ 最低賃金改定に伴う対応（富の里）について
- ⑤ 聖ヨゼフ園職員・実習生宿舎（仮称）改築工事について
- ⑥ 事務処理・電子化について ⑦ 日本福祉大学からのアンケートについて

キ 令和5年10月31日（火）（第260回）【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 働き方改革について
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について

(カ) 報告事項

- ① 有価証券の状況 ② 聖ヨゼフ園における不適切事案について
- ③ 法人全体研修会・採用内定者交流会について
- ④ 最低賃金改定に伴う対応について ⑤ 事務処理・電子化について

ク 令和5年11月28日（火）（第261回）【Zoom会議】

- (ア) 人事考課制度について
- (イ) 人材確保対策について
- (ウ) 働き方改革について
- (エ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (オ) 各施設感染症等への対応について
- (カ) 法人経営方針（策定）について
- (キ) 法人組織の将来に向けての課題整理について

(ク) 報告事項

- ① 有価証券の状況 ② 富の里職員アンケート結果について

ケ 令和5年12月20日（水）（第262回）【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 働き方改革について
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 各施設感染症等への対応について
- (オ) 法人経営方針（策定）について
- (カ) 物価高騰・食材料費含む対策について
- (キ) 法人経営方針（策定）について
- (ク) 法人組織の将来に向けての課題整理について

(ケ) 報告事項

- ① 有価証券の状況 ② 法人新任職員事前研修会について
- ③ 法人全体研修会（報告）

コ 令和6年1月30日（火）（第263回）【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 働き方改革について
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 各施設感染症等への対応について
- (オ) 法人経営方針（策定）について
- (カ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (キ) 報告事項

- ① 有価証券の状況 ② 被災地派遣に伴う勤務等の取り扱いについて
- ③ 令和6年能登半島地震にかかる義援金のご協力について
- ④ ウクライナの子どもたちを支えるための募金について
- ⑤ 「介護職員処遇改善支援補助金」への対応について
- ⑥ 第三者委員会（受付書等提示資料）について
- ⑦ 法人新任職員事前研修会について

サ 令和6年2月26日（月）（第264回）【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 働き方改革について
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 各施設感染症等への対応について
- (オ) 法人経営方針（策定 最終確認）について
- (カ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (キ) 報告事項

- ① 法人ホームページ【お問い合わせ（清心慈愛園）】への対応について
- ② 有価証券の状況 ③ 法人組織について
- ④ 法人新任職員事前研修会について ⑤ 処遇改善補助金・賃金改善への対応について
- ⑥ 福岡県災害派遣福祉チーム（DWAT）について

シ 令和6年3月21日（木）（第265回）【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 働き方改革について
- (ウ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (エ) 各施設感染症等への対応について
- (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (カ) 報告事項

- ① 法人ホームページ【お問い合わせ（清心慈愛園）】への対応について
- ② 法人組織について
- ③ 法人新任職員事前研修会について
- ④ 処遇改善補助金・賃金改善への対応について
- ⑤ 災害派遣について ⑥ 新年度辞令式について

(2) 法人運営委員会（2023年度（令和5年度）事業報告）

ア 会議開催（12回）

第1回	4月10日	第2回	5月15日	第3回	6月12日	第4回	7月10日
第5回	8月14日	第6回	9月11日	第7回	10月16日	第8回	11月13日
第9回	12月11日	第10回	1月15日	第11回	2月5日	第12回	3月6日

イ 法人理念の周知と実践

(ア) キャリアデザインハンドブックの研修等への活用

(イ) 公益的な取り組みの遂行と取りまとめ

① 社会福祉制度改革へ対応について

法人運営委員会の冒頭に常務理事よりこれからの社会福祉法人の在り方、我が国の福祉政策について、情報提供いただき、委員と共有した。特に、人口減少社会の中で人材不足の課題に対し社会福祉法人間の連携・協業化・ネットワーク化や、環境変化に対応する事業転換の必要性また介護福祉人材の確保などについて共有した。

ウ 法人将来構想の展望

(ア) 「糸島宮崎地区」「大刀洗地区」の各地区で1回/月将来構想委員会を開催し、社会福祉制度改革及び我が事丸ごと地域共生社会の実現を踏まえ法人運営委員会にて進捗状況等の情報共有に努めた。

① 糸島・宮崎地区の主な検討

- ・自立支援に向けたリハ職との連携のあり方の検討
 - ・地域包括ケアシステム推進に関わる連携やネットワークの構築検討
- ※新型コロナウイルス感染症の流行等にて十分に議論できる状況ではなかった。

② 「大刀洗地区」

- ・慈愛園・乳児園新設計画・地域支援事業の推進
(メイ建築を交えて具体的な構想及び工期などについて確認共有した)
- ・年末のおせち料理の配食
- ・買い物移動支援(毎週金曜日鳥飼公民館⇄農協・A コープ)

(イ) 新慈愛会ビジョンの活用

① 振り返りを通して次年度の事業計画へ反映させる。

エ 情報の保護、情報の開示と共有化

(ア) 各施設個人情報保護推進委員会の報告

7月10日 12月11日 3月7日 の計3回実施。

個人情報漏洩への注意喚起

SNS 活用の注意など

オ 慈愛会経営組織の充実

(ア) 人事考課制度の継続

(イ) 働き方改革への対応

- ① 就業規則の改訂
- ② 同一労働同一賃金への対応

(ウ) 研修体系構築について(法人研修部会と協力)

4月	考課者研修・新任職員人事考課研修
6月	中堅職員ステップアップ研修
9月	初任者研修
10月	人事考課研修 新任職員中間フォローアップ研修
11月	リーダー研修 法人全体研修会
1月	新任職員サポーター研修
2月	新任職員フォローアップ研修
3月	新任職員(事前)研修

※新任職員事前研修について

本年度は、聖ヨゼフ園会議室及び慈愛園体育館にて開催。

カ 安全管理体制の強化

(ア) 感染対策

- ① 5類となりインフルエンザ同様の取り扱いとなったが、新型コロナウイルス感染症が終わったわけではない。ウィルスを持ち込むことのないよう、また持ち向江dも拡散することのないよう、細心の注意を払いながら業務を遂行する必要があった。
- ② インフルエンザやノロウィルスなど感染状況について各施設が定期的に報告し、情報の共有を

継続した。

(イ) 風水害対策

- ① 各施設における災害対策および職員の行動指針について、リスクマネジメント部会を中心に確認、法人内施設で共有し、アップデートした。

(ウ) 安全管理体制の強化

- ① 福岡県災害派遣福祉チーム（DWAT）への参画と情報共有

キ 能登半島地震対応

(ア) 職員派遣について

- ① DWAT および経営協を通して、慈愛会職員を石川県の被災地へ派遣した。

(イ) 募金について

- 各施設で募金箱を設置した。
園長会にて継続して実施することとなった。

(3) 法人全体会（H9.9.1 設置）（2023年度（令和5年度）事業報告）

ア 令和5年10月16日（参加職員74名） オンライン開催（Zoom）

(ア) 理事長挨拶

(イ) 法人組織及び委員紹介（異動者）

(ウ) 令和4年度事業報告（各施設代表者）

- ① 各施設事業報告（理事会報告資料から）
- ② 法人運営委員会及び専門部会 活動報告（理事会報告資料から）

イ 令和6年3月6日（参加職員70名） オンライン開催（Zoom）

(ア) 理事長挨拶

(イ) 重要課題説明 常務理事 平田直之

- ① 「2024年度 経営方針（前文（めざす方向）」

(ウ) 2024年度 事業計画の概要

- ① 法人運営委員会・各専門部会の取り組み
- ② 各施設の取り組み（各施設事業計画）

(4) 法人全体研修部会 報告（2023年度（令和5年度）事業報告）

ア 令和5年度の方向性

(ア) 研修部会主催研修の充実

(イ) 法人研修体系構築の推進と専門部会の連携

(ウ) 法人間職員の交流の促進

イ 具体的方策と具体的取組

(ア) 研修部会主催研修の充実

- ① 研修部会主催研修の充実
 - i 法人新任職員研修の目的・内容の整理と講師と連携
 - ii 法人部会メンバーのEQSの理解促進と各施設との課題の共有
 - iii 法人全体研修会の充実に向けての検討
 - iv 中途採用者向けの新たな研修の実施

(イ) 法人研修体系構築の推進と専門部会との連携

- ① キャリアパスステージ別「法人研修」の推進
 - i 人材育成としての意識の醸成と目的の明確化
 - ii 法人研修体系プロジェクトチームと法人研修部会の連携
 - iii 法人内職員講師の育成
- ② 専門部会（栄養士部会、接遇向上委員会、感染症予防委員会）との連携を図る
 - i 各専門部会との連携推進
 - ii 栄養士部会研修会と活動の充実

(ウ) 法人間職員の交流の促進

- i 法人サービス評価部会（法人間施設見学）との連携
- ii 法人間職員交流が促進する研修の実施
- iii 集合研修への円滑な移行

ウ 法人研修の実施状況

(1) 令和5年度 新任職員事前研修会	令和4年3月19日～20日 オンライン研修（各会場）（自宅）
(2) 考課者研修・新任職員人事考課研修	令和4年4月5日 10月6日 聖ヨゼフ園・糸島・宮崎地区 オンラインにて実施
(3) 法人初任者研修①	令和4年9月14～15日 オンライン研修（各会場）
(4) 法人全体会	令和4年7月11日 令和5年3月7日（オンライン実施）
(5) 法人中堅職員ステップアップ研修	令和4年6月23～24日 集合研修（聖ヨゼフ園会議室）
(6) 法人リーダー研修	令和4年11月16～17日 オンライン研修（各会場）
(7) 新任職員中間フォローアップ研修	令和4年10月24日 オンライン研修（各会場）
(8) 法人全体研修会	令和4年11月22日 オンラインにて実施
(9) 新任職員サポーター研修	令和5年1月31日 オンライン研修（各会場）
(10) 新任職員フォローアップ研修会	令和5年2月11日 オンライン研修（各会場）
(11) 令和6年度 新任職員事前研修会	令和5年3月25～27日 集合研修（外部会場にて実施）

エ 具体的方策に対する取り組み報告

(ア) 今年度もオンライン研修が中心と結果になった。

これまで培ったノウハウを生かしオンラインでの研修の対応を行っているが、講師含め集合研修を実施して欲しいとの意見が多く、研修の成果の面においても低下するとの意見も聞かれている為、会場等の設定含め検討が必要な時期にきている。

法人全体研修の開催については、各施設からの事例報告を中心に実施し、法人の取り組みにおいて新たに知る事も多く、実りある研修会となった。

参加された職員からも「とても刺激を受けることができた」「法人の取り組みを知ることができた」と好評の声を多く頂く事ができた。

今年度新たに中途採用者向けの研修も実施、オンライン研修であった事もあり、講師よりグループワークの際に方向性がずれている事があったとの指摘も受けており、今後についての課題も多く残った。

(イ) 「キャリアパスステージ別法人研修」と専門部会との連携については、継続して連携実施している。法人内職員講師については、ここ2～3年で3名の職員が講師として講義をするようになった。今後も新たな職員の要請に尽力していく。

(ウ) 法人間職員の交流については、下記で述べるように集合での研修ができず、交流を促進する事ができなかった。

オ 今後の課題

(ア) 令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症が「2類感染症」から「5類感染症」へ引き下げられ社会全体としての感染症対策の緩和があったが、法人間の調整・会場調整ができず、全研修中9割がオンライン開催との結果に終わる。

オンライン研修を行うようになって4年、法人部会メンバーや参加者もパソコンの操作に慣れ、スムーズな実施ができるようになってきているが、臨場感や交流の課題・研修効果において集合研修での開催を実施して欲しいとの声が高まっている。この4年間で職員間の交流が激減した事から、職員間の相互理解や同期同志の仲間意識の減退等感じられる。引き続き、コロナ感染状況を鑑みながらも、法人研修において職員同士が交流できるような研修会の企画実施を希望する。

研修の内容については、講師陣とのやり取りを密に行い、内容の検討・共有を年間通し実施できている。今年度新たに職務経験がある中途採用者の研修を実施、今後内容の改善は図る必要があるものの、中途採用者へのフォローアップへの足掛かりを作ることができた。

今後の課題としては、学卒新卒者の早期離職への対応を含め、施設間の情報共有及び研修のあり方・ビジョン構築へのアプローチの考察が求められる。また社会的動向に合わせ、研修のオンデマンド

化や動画の活用など、効率性や専門知識定着の工夫が求められる。

今後も現在の研修体系を基盤としながらも、研修のあり方・目的の議論を活発にし、「法人が目指す職員像に基づき、能力開発ができるような研修」に向けて、工夫・発展に努めていく。

(5) 法人サービス評価部会 (2023年度(令和5年度)事業報告)

ア 令和5年度の活動方針

- (ア) 令和5年度の法人サービス評価部会は、「慈愛会ビジョン2025」の「1 人権の尊重」「2 サービスの質の向上」「10人材の定着に向けた取り組み」および「2023年度 慈愛会 経営方針」に則り、サービスの質を更に向上させることを目指して共通の取組みや情報交換を行っていく。
- (イ) 法人内利用者相互交流事業や法人内施設相互見学事業の企画・実施に向けて取り組む。
- (ウ) 法人接遇向上委員会の活動と連携を図り、支援する。

イ 具体的方策への取り組み

(ア) 養育・支援の質の向上

①法人内施設見学

今年度新たな取り組みとして、コロナ禍に入職した職員(令和2~4年度)は新任職員事前研修がZOOM開催のため法人内施設見学が出来ていなかったため、法人感染症対策委員会に協力を得ながら施設見学を経験年数別に6月・7月・9月に企画、感染症の関係で6月に令和2年度入職職員のみ実施した。見学では参加者が自施設を伝える形式で行った。参加職員からは「各施設の活動や支援への理解出来た」「施設内での連携が取れており瞬時の対応が出来ていた」「自施設でも普段いかない部署も見学出来た」「地域での役割や個を大切に支援する重要性を感じた」等好評な意見が多かった。令和3~4年入職職員の見学については次年度早い時期に実施する。

②法人内利用者間交流

感染症が収束しない状況で今年度は各施設が作った作品(清心乳児園は手形足形を絵にしたカレンダー、清心慈愛園は絵画、聖コゼフ園は利用者さんの作品集、篠原の里は絵画、源藤の里ここでは手作りオセロ・パズル)とメッセージを添えて郵送・手渡し(清心慈愛園)で届け合った。特に高齢の利用者さんは子どもとの交流は日頃会話にない言葉が増え、たくさん笑顔が見れるなど活力なるとのことだった。インスタグラムやSNS等の紹介も交流の一つになるのではないかと意見もあったので内容を検討しながら次年度も継続していく。

(イ) サービスの評価に関する取組み

①受審した施設からの情報共有

清心乳児園が1/16・17、篠原の里が2/13・14に第三者評価を受審した。3月の部会にて報告を行い、情報共有を行った。

②児童養護施設の第三者評価についての勉強会

各施設の第三者評価の設問内容・事前準備・総評・その後の取り組みを学び合うことで更なるサービスの質の向上につながると考え、今年度は児童養護施設第三者評価についての勉強会を部会会議内で行った。「勉強になった」「来年度受審予定なので参考にする」という意見が多かったため次年度も継続していく

(エ) 接遇向上委員会の充実

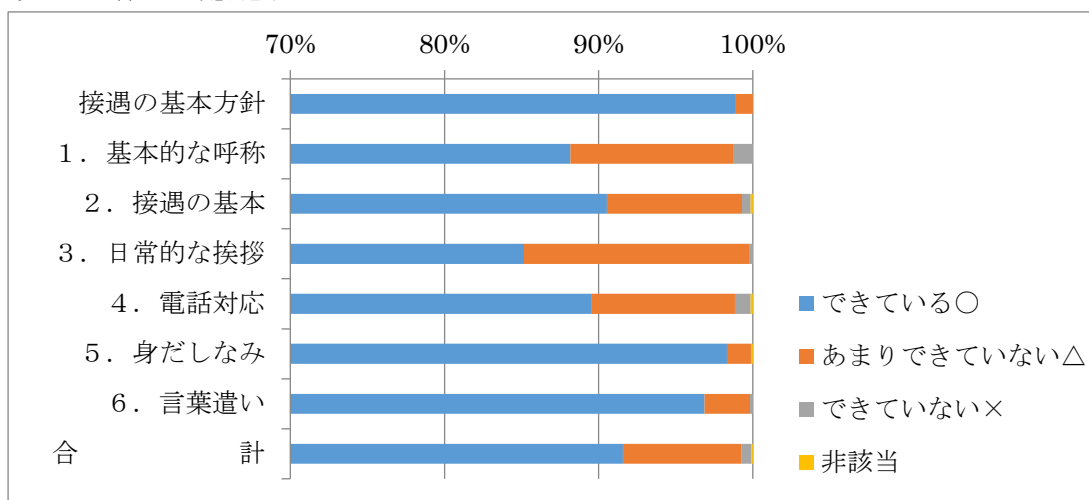
法人内職員の接遇意識の向上を目的として、法人共通の接遇目標(10月:伝えあって、感じとって伝わるコミュニケーション 2月:マスク着用時に気を付けておきたいポイント 3月:ポジティブな発言でチームを明るく効率アップ)や職員インタビューを掲載した広報誌(接遇ニュース)を年3回作成して各施設に掲示した。

今年度新たな取り組みとして各施設の接遇研修で使える動画作成について検討した。必要な項目を出し合い、「挨拶・電話対応」から動画を作成することまでしか進まなかったため次年度も継続して実施する。

最後に今年度も法人内全施設の職員対象に接遇自己チェックを実施した。設問5「身だしなみ」以外の項目は「出来ている」の項合が昨年度より更に増加している。法人各施設の取り組みや法人接遇向上委員会の取り組みもあり、法人内職員の接遇への意識が年々高まっていると感じた。

【接遇自己チェック集計結果報告】

1. 実施年月：2023年9月
2. 実施した法人職員数：427名（前年比14名増）
清心慈愛園51 清心乳児園56 聖ヨゼフ園194 富の里85 篠原の里12 ころこ18
3. 法人全体での集計結果



4. 前年との比較 ()は2021→2022年

	出来ている	あまりできていない	できていない
接遇の基本方針	99% (65→98)	1% (34→2%)	0% (1→0%)
1. 基本的な呼称	88% (55→84)	11% (39→15)	1% (6→1)
2. 接遇の基本	91% (50→87)	8% (46→12)	1% (4→1%)
3. 日常的な挨拶	85% (46→81)	14% (48→18)	1% (5→1%)
4. 電話対応	90% (48→86)	9% (46→12)	1% (5→1%)
5. 身だしなみ	98% (68→98)	2% (31→2%)	0% (1→0%)
6. 言葉遣い	97% (52→95)	2% (47→5%)	1% (1→0%)
合計	92% (52→88)	7% (44→11)	1% (4→1%)

(6) 法人リスクマネジメント部会 (2023年度(令和5年度)事業報告)

ア 目的

この部会は、各施設でリスクマネジメントの基本的な考え方や具体的な組織のあり方を考え情報を共有し協力体制をとる。

イ 令和5年度の具体的な取り組み

当部会では、ハード・ソフトの環境面をより重視したリスクの洗い出しと再発防止策はもちろん「未然防止策」に力を入れリスクマネジメント体制の充実を図り、各施設での取り組みを共有し、連携して継続した実施を行った。

(ア) リスクマネジメントの充実

- i 総合的リスクに対する対応方法の検討
 - ・ 特にサービス提供、災害、事故を現場におけるリスクとして捉え協議し共有できた。必要に応じて、法人運営委員会に提案した。
 - ・ 各施設事故防止委員会等で定期的な検討
- ii 利用者の生活習慣病対策
 - ・ 各施設の生活習慣病対策の徹底と情報共有
- iii 福祉避難所としての取り組み
 - ・ 行政との協議(富の里・篠原の里・聖ヨゼフ園)

(イ) 意見・要望への取り組み

- i 意見・要望等のサービス改善システムの充実
 - ・ 事例検討を通して、情報の共有化と意見交換を行った。（部会開催時各施設より報告）
- (ウ) 安全対策への取組み
 - i 災害時、各地区への応援体制の検討
 - ii 避難訓練の充実
 - ・ 地震、風水害等を想定した避難訓練の実施
 - ・ 消防計画の充実と地域への周知地域防災計画に沿った協力体制の見直し消防団消防署との合同防災訓練の計画と実施（年1回の実施）（篠原の里）
 - ・ 大刀洗地区合同の災害訓練の実施と協力体制の構築（各施設）
各施設の連絡担当者の選任
3施設合同（清心慈愛園・清心乳児園・聖ヨゼフ園）で、令和5年3月に実施
 - iii 防犯対策の取組み
 - ・ 防犯マニュアルの見直しの検討と周知徹底（各施設）
 - ・ 防犯対策の訓練と講習の実施（各施設）
（聖ヨゼフ園では、外部講師へ依頼し、動画研修を実施）
 - iv BCP（事業継続計画）の充実と確認
 - ・ BCPの見直し（警戒レベルに沿って変更）
 - ・ 業務フローの作成、防災備品の整備と確認（各施設の備蓄品の一覧作成と確保日数）
BCP義務化に向けての書類整備（各種別で確認、検討）
 - ・ 各施設、洪水の避難確保計画の作成と行政への提出（大刀洗地区）
 - v 遊具、設備等の安全点検の実施
 - ・ 児童の安全確保に関する計画について策定と行政への提出
- (エ) 利用者の権利擁護への取組み
 - i 職員倫理規程と行動指針の周知
 - ・ 職員倫理規程、各施設版の行動指針を職員へ周知
 - ・ 虐待防止対応マニュアルの見直しと情報共有（各施設）
 - ・ 不適切な行為をなくす対応を検討し、虐待防止につなげる対策（各施設）
虐待、権利侵害の根絶に向けての検討と対策の周知を行った。

(7) 法人地域福祉部会（2023年度（令和5年度）事業報告）

ア 「社会・地域における公益的な取組み」に関する広報紙の作成

- (ア) 広報紙（かわら版）の機能強化として事業活動・提供するサービス内容・公益的な取組みの実施状況等について地域に積極的に発信した。
 - i かわら版の活用方法
 - ・ 各施設で掲示版に掲示
 - ・ 利用者・家族（園だより等と一緒に送付）・法人・施設内の会議・研修・外部での会議・研修・実習生・学校や関係機関訪問・行政・社協・公益的な取組みで関わる方・就職説明など
 - ii かわら版第15号掲載内容
 - ・ 夏祭り・地域交流会（清心慈愛園）
 - ・ 夏祭り・地域交流会（源藤の里こころ）
 - ・ しのカフェ（篠原の里）
 - ・ ボランティアへのお手紙作り（清心乳児園）
 - ・ ほっとサロン（清心乳児園）
 - ・ 家族介護教室（富の里）
 - ・ 介護予防活動への参加（聖ヨゼフ園）
 - iii かわら版第16号掲載内容
 - ・ 地域交流会（富の里）（清心慈愛園・清心乳児園・）
 - ・ 三井・小郡防災協会餅つき（清心慈愛園）

- 就労訓練事業（篠原の里）
- 宮崎南小学校との交流会（源藤の里こころ）
- きょうだい児支援（聖ヨゼフ園）
- だっこピクス（清心乳児園）

イ 法人の経営方針等をもとに、各施設の『社会・地域における公益的な取り組み』を下記に示す

下記（ア）～（キ）のイメージのもと、現在既に実施していること、計画・案等について、これから取り組む予定の分類作業を実施。

- （ア）自己財源による社会福祉事業の実施
- （イ）実施している社会福祉事業を受け皿として公益的な活動
- （ウ）実施している社会福祉事業の延長上（周辺）の公益的は活動・地域の人びと等を対象とした活動
- （エ）定款記載の公益事業のなかでも自己財源による事業
- （オ）地域福祉・社会福祉の向上に向けた活動
- （カ）ノウハウや経験・専門人材や施設・設備を活かした取り組み
- （キ）その他の取り組み

ウ 法人の「社会・地域における公益的な取り組み」について「イ」で分類した取り組みを下記要項で整理作業を実施。

- （ア）取り組み名、実施施設、活動内容、開始年月日を記載。
- （イ）「現況報告書」の取り組み分類コード類型に応じた以下の9項目に分類。
- （ウ）地域の要支援者に対する相談支援
- （エ）地域の要支援者に対する配食・見守り・移動支援等の生活支援
- （オ）地域の要支援者に対する権利擁護支援
- （カ）地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
- （キ）既存事業の利用料の減額・免除
- （ク）地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
- （ケ）地域住民に対する福祉教育
- （コ）地域の関係者とのネットワークづくり
- （サ）その他

エ 情報共有

- （ア）各施設の取組み（地域における公益的取組み・ボランティア等）について、実施状況や実施に向けた課題や工夫などの情報を相互に共有し、自施設での取り組みの参考とした。
- （イ）上記をもとに部会メンバーの相互参加や連携方法を模索し、取り組みの更なる推進を協議した。

オ 慈愛会ビジョン『5. 地域共生社会の推進』の『実践のポイント』確認

- （ア）『実践のポイント』の項目に沿って、部会メンバーが自施設の状況を再確認した。その結果、各施設の共通点として、現在取り組んでいる活動以外で新たな地域課題やニーズをいかに把握していくかが課題と考えられた。

（8）法人感染対策部会 （2023年度（令和5年度）事業報告）

ア 目的

法人内施設の感染症の発生等における情報の共有および相談を受けて対策について、検討助言を行う。また、感染対策に必要な物品の備蓄を行う。

イ 会議開催日と場所・方法

- （ア）第1回：5月19日 第2回：8月18日 第3回：11月24日 第4回3月1日
- （イ）方法：オンライン（聖ヨゼフ園よりZoom配信）第3回のみラウンドの為、富の里より実施

ウ 内容

- （ア）安心安全で良質なサービスを提供するため利用者の生活環境・利用環境を整備する。
 - i マニュアルの見直しと日常業務における感染予防対策を徹底した。
 - マニュアルの見直しでは、施設の看護師数により会議や委員会等で定期的実施できた施設とできなかった施設があった。感染予防対策の周知は研修会や会議などで実施した。また、感染症

発生時はその都度、対策を指導している施設もあった。

- ii 医療福祉センター聖ヨゼフ園では MRSA・ESBL 等の保菌者が増えてきているため、標準予防策・接触感染対策を徹底した。
- (イ) 感染症等を施設に持ち込まないという意識の醸成と実践のための職員研修及び感染症発生報告を実施する。
- i 実施方法は、施設により様々であるが、必要時職員会議や 10 分ミーティング等を活用し、周知を図るなどの工夫をしていた。ICT による年 3 回の園内研修(4 月新任職員研修)、看護部会議、病棟学習会等の各々の場面で、PPE 着脱や感染症の基礎知識など必要な研修を行った。
 - ii 福岡県の新型コロナ感染症対策の事業として、R5 年度末まで高齢者及び障害児・者施設に対し抗原定性検査キットが配布され、検査結果の報告を行った。これにより感染拡大防止に大きく寄与した。
- (ウ) 感染症予防に必要な消毒薬・防護具等の消耗品や機器の点検と整備を行う。
- i 在庫管理等は事務職や看護師または材料によっては薬剤師が行う等さまざまであったが、管理は確実に過不足なく整備されていた。
- (エ) 感染拡大防止のためのゾーニング等の対応方法の明記と周知徹底。
- i 新型コロナウイルス感染症は R5 年 5 月から 2 類から 5 類への変更に伴い隔離期間等が変更された。施設によっては、解除の期間の誤りがあるなど看護師による明確な指示が必要だった。
 - ii クラスタが発生した場合はレッドゾーンの作成や周知を行った。部署間と小規模、デイ等の接触がないように区分する等の対応を行った。施設によっては感染症が発生した時に個室での隔離の準備が誰でもできるようにチェックリストを作成した。
- (オ) 入所施設居住系事業所においては、平常時から関係機関(行政・保健所・医療機関)との連携(予防対策・感染者発生時の対応方法への助言・指導等)を図る。
- i 1 施設においてクラスタが発生した際に、対応に追われ関係機関への報告が漏れたことがあった。その後、報告リストを作成し情報共有することで報告の漏れは改善した。他施設は関係機関への相談・報告等の連携は取れていた。
- (カ) 感染症と自然災害の併発も想定した事業継続マネジメントを策定し、必要時変更する。
- i 殆どの施設において感染症を含む BCP の策定は出来ていない状況。また、策定は施設内の各部職員との協働連携した作成が必要である。
- (キ) 各施設における感染症発生情報の共有と適切な相互支援。
- i 施設により入力の担当者や時期は様々であった。その為、法人共有フォルダへの入力が確実にできていない施設があった。各施設で担当者の役割を明確にする必要があった。
 - ii 乳児園の感染症(RSV・インフルエンザ等)発生時は、医師や外来看護師による助言を行った。
- 基本的人権を尊重した、感染対策を実施する。

(ア) 利用者やその家族等に感染対策の IC を行い、適切な感染対策を実施する

- i 感染症発生時は、その都度、利用者やその家族に対し、対象に応じた方法で説明し、理解を得た。
 - ii 乳児園や慈愛園では入所児の年齢によっては、病状説明や隔離の必要性を伝え軽快を確認次第、隔離解除を行い不必要な隔離をしない様努めた。罹患時はご家族(親権者)及び児童相談所へ連絡も行った。
- (イ) 感染拡大のリスクを客観的にとらえ、多様性や価値観の違いに配慮しながら個人情報保護に基づき適正かつ的確な対策を運営する。
- i 医療福祉センター聖ヨゼフ園ではすべての利用者のご家族や後見人に対して、年 1 回の主治医からのインフォームドコンセント(IC)を行っており、多剤耐性菌や感染症による個室管理が必要になった場合は、利用者とそのご家族や後見人へ説明し、了承を得た。
 - ii 感染症に罹患したすべての対象者に対して、治療内容や、感染対策について守秘義務を遵守し、4 月の新任職員研修等において個人情報保護の観点から情報管理の重要性について説明した。
 - iii 慈愛園では、コロナ禍においては新型コロナ感染症罹患児への心無い声が聞かれることもあった。今年度は感染症罹患患者に対する差別的な発言は見られなかった。個人情報を保護しつつ、児童養護施設では他者を劣わる気持ちを育む指導も必要と考える。

サービスの質の向上に寄与する。

- (ア) 多様化する感染症の基本的な対策技術の習得と感染拡大防止を行うと共にサービスの質の低下に繋がらないよう生活環境の確保に努める。
 - i 慈愛園では、感染症対策のための必要な生活制限以外は、可能な限り精神的苦痛を取りのぞく視点が必要と考える。
 - ii 感染症の発症時は、業務が煩雑になる中で職員のみならず感染対策について利用者への教育・指導を行い協力を得ることは有益であった。
- (ウ) 医療と福祉サービスの両立
 - i 法人内施設の特徴を理解したうえで、医療の視点から標準予防策を行う必要がある。
 - ii 慈愛園では健康管理を1人の看護師で担っているため、過不足のない適正なケアについて指摘することは今後も重要である。
 - iii 医療福祉センター聖ヨゼフ園では感染症の発生報告を受け、立案・実施した対策の内容をラウンドを行い確認した。COVID-19のクラスターではコホーティング（集団隔離）を行った。隔離された環境の中で生活する事を想像し、各ベッドの配置や不快要素（圧迫感・臭気・採光・換気等）に問題が無いか確認し指導・助言した。

その他

- (ア) 医療機関としての医療福祉センター聖ヨゼフ園の感染対策の実際を知り、各施設に応じて活用する。
 - i 施設見学：
期日：11/24 富の里を訪問 聖ヨゼフ園の委員3名
内容：施設内ラウンド 可能なゾーニングについてディスカッションを行った。
他施設については、部会会議への参加や電話による相談を受け、予防策について助言や対策の検討等を行った。
 - ii 医療福祉センター聖ヨゼフ園の感染対策チーム（ICT）による研修開催については実施できなかった。理由は、聖ヨゼフ園において年間を通して様々な感染が発生した為である。
 - iii COVID-19 ワクチン接種については国の政策に基づき接種を希望する職員及び利用者に対し実施した。実施に伴う事故等の発生はなかった（2023年7月・12月）
- (イ) 福岡県感染対策事業により、高齢者及び障害等の施設職員に対して、週1～2回のCOVID-19抗体検査を実施したことで、感染拡大が防止できた。
- (ウ) 聖ヨゼフ園では感染予防啓発活動として、園内の全館放送（年2回感染対策トピックス）、ポスター作成（研修案内2回と感染対策強化月間2回）を実施した。

今後の課題

- i 感染症および食中毒の予防並びにまん延防止に関する取り組みや各施設における感染症発生時のBCP策定や見直しの実施。
- ii 今年度研修開催ができなかった。法人内施設の利用者の感染対策として、各施設の特徴を尊重しながら利用者の命を守るために、正しい知識と技術を習得し、状況に応じて臨機応変な対応ができるように研修を実施する。
- iii 法令による感染症の検査項目の実施（レジオネラ属菌等）
- iv 法人内事業所において看護職数の違いから、感染対策の徹底のためには事業所の上司・管理者の理解と協力が必要である。
- v 感染対策が最優先事項となり利用者へのサービスの質の低下を招くことで、認知及び身体機能の低下に繋がらないよう具体的な計画と実施が必要と考えられた。
*報告の詳細については各施設報告を参照してください

(9) 法人心理士会 【2023年度（令和5年度）事業報告】

ア 定例会議の開催（1回/月）（全12回開催）

(ア) 情報交換（事例・心理業務・研修他）

(イ) 勉強会：各施設の心理業務・園内研修等での講義メニュー・心理士による地域支援

- (ウ) 法人内スーパービジョン：検査所見・困難事例 他
- (エ) 清心慈愛園の園内研修依頼・大刀洗町の WICS 依頼
- イ 地域住民を対象とした心理支援の検討・実施
 - (ア) 大刀洗町親子教室
 - i 発達の遅れが気になる幼児および保護者への個別相談及び集団指導
(4月～3月 合計 12回)
 - (イ) 大刀洗町内の保育園児・小中学生への WISC (大刀洗町特別支援教育推進事業)
 - i 大刀洗町教育委員会から依頼を受け、大刀洗町内の保育園児・小中学生に WISC を実施した。
(9月～1月 合計 14件)
- ウ 園内研修等への講師派遣 (法人内)
 - (ア) 清心慈愛園の勉強会を企画し、聖ヨゼフ園リハビリテーション部と連携して実施した。
(7・9・11・12月 合計4回)
- エ 法人心理士会内のサポート体制の整備と実施
 - (ア) 新任心理職のサポートの一環として、法人心理士がおこなう心理検査の陪席・見学、定例会議時等に SV を実施した。
- オ 地域支援に関する外部研修への参加
 - (ア) 親子関係形成支援事業実施を目標に、受講が必要な研修をあらかじめリストアップし、主管園長を通して園長会にて研修受講について承諾を得て、申し込み手続きを実施した。
(令和6年4月～ 随時受講予定)

(10) 法人倫理委員会

開催日	令和5年 8月28日	[個人情報保護推進委員会]	
	令和5年 12月11日	[個人情報保護推進委員会]	
	令和6年 2月26日	[個人情報保護推進委員会]	
		令和5年度内計	0件 (承認0件)
職員からの臨床研究倫理審査【H26.3.3～】 申請累計55件 (承認55件)			

※ 個人情報保護推進委員会【法人内 (各施設) 個人情報の取り扱いの確認】 年度内3回

(11) 災害時の連携・支援による覚書 R3.2.20 締結 (日本福祉大学・連携社会福祉法人)

8 キャリアステージ対応の職員研修の実施

(1) 人事考課制度関係研修会

H17年度から導入した人事考課制度は、より良い運用のため各種取り組みを行った。

ア 考課者研修会 (オンライン研修)

新任考課者研修	令和5年 4月 5日	清心慈愛園・聖ヨゼフ園・清心乳児園 こころ 【計6名】
---------	------------	-----------------------------------

イ 新任職員研修会 (オンライン研修)

新任職員研修 (正規職員)	令和5年 4月 5日	清心慈愛園・聖ヨゼフ園・清心乳児園 富の里 【計21名】
新任職員研修 (非正規職員)	令和5年 10月 6日	聖ヨゼフ園・清心乳児園・富の里 篠原の里 【計6名】
新任職員研修 (正規職員)	令和5年 10月 6日	(研修受講者) 聖ヨゼフ園・清心乳児園・富の里・こころ 【計8名】
		(ビデオ視聴対応) 聖ヨゼフ園・富の里・こころ 【計5名】

ウ 昇給ガイドラインコンサル

令和5年6月19日(月)

エ 今後の継続的課題

- (ア) 考課者育成を充分に行い、人事管理で大切な「人材を育てる仕組み作り」を推進
- (イ) 研修体系と整合性を取った人事考課制度の運用
- (ウ) 人事考課制度の目的や必要性についての職員への理解促進の徹底

(2) 初任者研修会 (通算参加者213名)

第7回 令和5年7月13日~15日 オンライン開催 (Zoom) 参加32名

(3) リーダー研修会 (通算参加者104名)

第7回 令和5年9月21日~22日 オンライン開催 (Zoom) 参加12名

(4) 中堅職員ステップアップ研修会 (通算参加者222名)

第10回 令和5年6月22日~23日 集合開催 (聖ヨゼフ園会議室) 参加22名

(5) 新任職員フォローアップ研修

ア 令和5年 新任職員中間フォローアップ研修 中途採用者向け

第1回 令和5年10月11日 オンライン開催 (Zoom) 参加14名

イ 令和5年 新任研修中間フォローアップ研修

第15回 令和5年10月13日 オンライン開催 (Zoom)

参加28名 体験談発表者5名

ウ 令和5年度 新任職員フォローアップ研修

第26回 令和6年2月11日 オンライン開催 (Zoom) 参加26名

(6) マネジメント研修会

(H28年度・H30年度~令和5年度は、対象者数等から判断し実施見送り)

H27年度~H29年度の参加者 (通算20名)

(7) 法人全体研修会

第25回 令和5年11月27日 オンライン開催 (Zoom) 参加者 法人内6施設職員 159名

(8) 新任職員サポーター研修会 (「新任職員サポート制度指針」使用) (通算参加者250名)

第13回 令和6年1月29日 オンライン開催 (Zoom) 参加22名

(9) 新任職員事前研修

第25回 令和5年度 法人新任職員事前研修

令和5年3月25日(土)~27日(月) 参加33名

集合研修 会場 1日目 久留米リサーチパーク (2F 研修室)

2日目 ホテルニュープラザ久留米 (3F 舞鶴)

3日目 施設見学 (大刀洗3施設及び糸島地区2施設)

9 地域における公益的な取組

(1) 生計困難者に対する相談支援事業の実施

ア 定款変更 (認可日) 平成29年11月15日

(ア) 事業目的に「生計困難者に対する相談支援事業の経営 (第二種社会福祉事業)」を追加

イ 事業名

(ア) ふくおかライフレスキュー事業

(イ) みやざき安心セーフティネット事業

ウ サポーター研修受講者（令和6年3月31日現在） 16名
 [清心慈愛園4名・聖ヨゼフ園5名・清心乳児園1名・富の里4名・篠原の里2名]

エ 活動実績（令和5年度）

(ア) 糸島地区（養護老人ホーム篠原の里）

[支援中の案件0件] [支援金額0円] [支援最終数0件]

① ふくおかライフレスキュー事業 糸島地区連絡会

	期日	項目	内容	参加数
1	4月21日	第46回糸島地区連絡会 (主催：福岡県老人福祉施設経営協議会)	新年度のサポーター紹介 令和5年度活動について	1
2	6月16日	第47回糸島地区連絡会 (主催：福岡県老人福祉施設経営協議会)	事例報告 今後のレスキュー活動について	0
3	8月18日	第48回糸島地区連絡会 (主催：福岡県老人福祉施設経営協議会)	事例報告・検討 代表者会議について 炊き出し活動について	1
4	10月20日	第49回糸島地区連絡会 (主催：福岡県老人福祉施設経営協議会)	事例報告・検討 研修会について 代表者会議について	1
5	12月15日	第50回糸島地区連絡会 (主催：福岡県老人福祉施設経営協議会)	事例報告・検討 炊き出しスケジュールについて	1
6	2月16日	第51回糸島地区連絡会 (主催：福岡県老人福祉施設経営協議会)	事例報告・検討 炊き出し活動締結	1
延べ参加数				5

② 認定就労訓練事業

	期日	項目	内容	参加数
1	10月13日～	認定就労訓練（10：00～12：00） 週3回（月・水・金）	施設内（浴室・脱衣室）清掃	1

(2) 地域福祉・福祉教育等

ア 買い物支援（聖ヨゼフ園・清心慈愛園・清心乳児園・法人事務局）

- ・毎週金曜日に大刀洗町大堰鳥飼地区とAコープ大刀洗店間の送迎を実施
 （計34回・延べ408名利用）

イ きょうだい児支援（聖ヨゼフ園・清心慈愛園・法人事務局）

- ・進学・進級お祝いメッセージカード、誕生カード送付（15名）
- ・参加児に向けたお便りの定期発行（2回）
- ・YouTube動画の作成・公開（2回）
- ・集合形態での開催（1回 きょうだい児7名参加）

ウ 施設見学の受入れ（聖ヨゼフ園・法人事務局）

- ・大学・短期大学（2校）
- ・民生委員・主任児童委員（2地区）

エ 情報発信

- ・法人ホームページにて、在宅の障害児者も楽しめる情報発信を実施（1回）

10 法人ホームページの運営 掲載画面 再構築（令和3年3月19日公開）

11 事業所内保育所（きつずるーむ あいあい）

(1) 許認可等

ア 平成25年12月27日（福岡県の「事業所内保育施設運営計画」認定決定通知 受領）

- イ 平成26年 1月17日（福岡県あて「認可外保育施設設置届出」提出）
- (2) 事業開始 平成26年1月6日
- (3) 管理運営責任者 株式会社アイگران（広島市西区庚午中1-7-24）
- (4) 保育施設
- ア 医療福祉センター聖ヨゼフ園3階73.62㎡
（保育室15.90㎡、乳児室25.66㎡、便所1.33㎡、調理室5.65㎡、その他（事務室等）25.08㎡）
- イ 保育実績 2023年度 延べ1,024名
（2022年度 延べ1,147名 2021年度 延べ1,494名 2020年度 延べ1,929名）

12 全国社会福祉協議会との職員研修事業

- (1) 令和2年度
- ア 全社協への研修派遣 1名（清心乳児園所属職員）
- イ 全社協（総務部所属）から研修受入 1名
- (2) 令和3年度
- ア 全社協（国際部所属）から研修受入 1名

13 国際貢献事業

(1) アジア社会福祉従事者研修生（全国社会福祉協議会）受入状況

第30期	1名	平成25年9月12日 ～平成26年1月24日	フィリピン	ホスピシオ デ サンホセ	ソーシャルワーカー（女性）
第31期	1名	平成26年9月22日 ～平成27年1月21日	スリランカ	ネセック財団	ソーシャルワーカー（男性）
第32期	1名	平成27年9月29日 ～平成28年1月22日	フィリピン	ネオシモ財団	ソーシャルワーカー（女性）
第35期	1名	平成30年10月8日 ～平成31年1月18日	大韓民国	ナレウル グループホーム	ソーシャルワーカー（女性）
第36期	1名	令和元年10月7日 ～令和2年1月17日	台湾	桃園家庭扶助 センター	ソーシャルワーカー（女性）
第37期	1名	令和5年9月28日 ～令和6年1月17日	タイ	t t b財団 子どもと地域開 発センター	ソーシャルワーカー（女性）

(2) 韓国学生日本社会福祉研修受入状況

第1期生	16名	2000年7月17日～7月24日 (8日間)	韓世大学
第2期生	17名	2001年7月31日～8月7日 (8日間)	韓世大学
第3期生	18名	2004年1月26日～2月2日 (8日間)	韓世大学
第4期生	17名	2004年8月1日～8月8日 (8日間)	韓世大学、江南大学、水原女子大学、天安大学、 大真大学、新吉総合福祉館
第5期生	17名	2005年7月31日～8月7日 (8日間)	韓世大学、江南大学、天安大学、新吉総合福祉館
第6期生	18名	2006年7月30日～8月7日 (9日間)	韓世大学、江南大学、聖潔大学、淑明大学、新吉 総合福祉館
第7期生	18名	2007年7月30日～8月6日 (8日間)	韓世大学、江南大学、崇實大学、全北大学、ルー テル大学、新吉総合福祉館

第8期生	17名	2008年7月28日～8月4日 (8日間)	韓世大学、江南大学、崇實大学、全北大学、韓国 デジタル大学、新吉総合福祉館、同志社大学
第9期生	19名	2010年7月26日～8月2日 (8日間)	崇実大学、全北大学、江南大学、ルーテル大学、 九鳳福祉財団、新吉福祉館
第10期生	19名	2011年8月1日～8月8日 (8日間)	木浦大学、江南大学、韓世大学、全北大学、カト リック大学、白石大学、新吉福祉館
第11期生	19名	2012年7月31日～8月7日 (8日間)	崇実大学、江南大学、韓世大学、全北大学、新吉 福祉館
第12期生	16名	2014年8月4日～8月11日 (8日間)	新吉福祉館、江南大、又松大、南ソウル大、全北 大、崇實大、ルター大
第13期生	20名	2016年8月1日～8月8日 (8日間)	祥明大、江南大、又松大、三育大、水原女子大、 建国大、南ソウル大
第14期生	19名	2017年7月31日～8月7日 (8日間)	新吉、祥明大、江南大、建国大、水原女子大、又 松大
第15期生	16名	2018年7月30日～8月6日 (8日間)	崇実大、祥明大、又松大、水原女子大、北京大、 江南大
第16期生	16名	2019年7月29日～8月5日 (8日間)	水原女子大、又松大、江南大、ソウル女子大、極東 大、永登浦障がい福祉館
合 計	282名		

備考 2002年：サッカーワールドカップ日韓大会のため中止（学生ボランティア参加）

2009年：新型インフルエンザ流行のため中止

2013年：聖ヨゼフ園改築工事（新館）の為中止

2020年：新型コロナ流行のため中止

(3) 韓国社会福祉視察研修

ア 2004年視察

(ア) 研修期間 H16年7月24日(土)～26日(月)3日間

(イ) 視察研修先 大韓民国 ソウル市

(新吉総合社会福祉館・児童養護施設 安養保育院・韓国社会福祉協議会)

(ウ) 参加者 10名 (本法人役職員8名、他社会福祉法人2名)

イ 2010年視察

(ア) 研修期間 H22年8月27日(金)～29日(日)3日間

(イ) 視察研修先 大韓民国 ソウル市

(社会福祉士協会・新吉総合社会福祉館

10周年記念セミナー・研修生との交流会(第1～9期生))

(ウ) 参加者 12名 (本法人役員7名、学識経験者1名、他社会福祉法人4名)